



醫  
家  
全  
錄  
  
目  
録

ケ 5
68
23





儀玄全集末書上卷總目錄

○卷之一 軍法本之卷

- 一 八陣之事
- 二 八陣究竟并圖畫
- 三 五人為伍二十五人為兩之場
- 四 軍法之序
- 五 大將三つのおいひの事
- 六 者取物せりよよと士人の事
- 七 者頭物せりふのやぬ士人の作法人の事
- 八 かくて不叶人七人の事

ケ 6

儀

九 常しく思成アヌとく戰場へ可下連とて七人のと  
十 人の目利指子うらう

○卷之二 城取巻之上

- 一 城取教并懸置の地形と云う
- 二 城取の地形よ二支入事
- 三 依地形城の性成と云う
- 四 城取の訓練と云う
- 五 城取の草取真三段の習と云う
- 六 城取のちいさく城取圖

七 小口城取の圖

八 草角の取方の事

九 真の角の取方の事

十 草の取方の事

十一 真の馬の取方の事

十二 過りの取方の事

十三 城取の取方の事

十四 曲入り取方の事

十五 城取の取方の事

十六 陰虎に并取方の事

十七 陽乃虎口のくろ

十八 社の子形代事

十九 再虎口のくろ并圖

二十

一 一三乃門ひろせむの事

一 或志そまろりのくろ

一 くるそまろりの事

一 格のりんくんとあみくろ

一 門乃ち若ひろせむの事

一 門地ふくまの事

廿一 鹿骨金鳥のくろ

廿二 まろり門乃圖

廿三 欄木二ヶ條の事

廿四 産ね産防のくろ

廿五 武者毛三段并太毛の事

廿六 廊下格のくろ

廿七 再格乃事

廿八 水やらくろ圖

○卷之三 城ねおとくろ

- 一 善ふらわりの事
- 二 志とまわりの十二ヶ条の事
- 三 城よりの事
- 四 矢合の條取可和心持の事
- 五 矢さゆ切やりの三ヶ条の事
- 六 鉄炮矢の二ヶ条の事
- 七 二重櫓の事
- 八 石打棚の事
- 九 大竹つりの事
- 十 矢倉の事

- 十一 屏とく白文信子の事
- 十二 陰陽和合の事
- 十三 中城二三ヶ条の事
- 十四 城陰陽の事
- 十五 後固れ城可取の事
- 十六 山城と丸の事
- 十七 乃の事
- 十八 乃の事
- 十九 乃の事
- 二十 乃の事
- 二十一 乃の事
- 二十二 乃の事
- 二十三 乃の事
- 二十四 乃の事
- 二十五 乃の事
- 二十六 乃の事
- 二十七 乃の事
- 二十八 乃の事
- 二十九 乃の事
- 三十 乃の事

十九 堀廣との事

二十 古居の去後り乃ら

二十一 平部のおとろを成いさる事

二十二 堀内くわりの事

二十三 堀内極位

二十四 大角馬おとろの事

二十五 平城よとろに教代曲尺の圖

二十六 ちさりの事

○ 卷之四 内伝之卷

一 大人おとろの事

二 敵らおとろの事

三 浅者おとろの事

四 一浅者おとろの事

五 二士おとろの事

六 三組頭のおとろ

七 四足將おとろの事

八 自足將おとろの事

是經七格の海中一勝負を指子七格

足控組格 再足控組七ヶ条の事

足控大物扱人の事

足控武切人の事

中又六名扱人の事

中六名扱柄扱人の事

中七役扱柄扱人の事

中八旗扱柄扱人の事

中九使扱人の事

中十番扱柄扱人の事

中十一通扱人の事

中十二徒層扱人の事

中十三統七羽扱人の事

中十四隠居扱人の事

中十五歩の元人扱人の事

中十六弓銃扱扱人の事

中十七銃さう扱人の事

中十八長柄扱人の事

中十九吉原扱人の事

中二十小力士扱人の事

中二十一...

中元一少前結なり武志の事

四 又十騎由人取獲の事

又 あり人取とりくすも苗字の由とひそめく

実吾とちり隠し一志あり三ヶ条あり

○巻之五

一 信玄公湯お原前あり十八ヶ条あり

二 法衣と決り十七ヶ条あり

三 者取物なり武切なり一と道なり

六ヶ条あり

四 人取あり十二ヶ条あり

又 押志能撃格の事

六 螺乃事

七 鐘の事

八 旗の事

九 合戦大小或ち城攻よ旗格の事

十 火の事

○巻之六

一 鳥名卷之決りあり



- 二 小方の士高名を登りし事
- 三 ありし中もし事
- 四 かくれしち高名の事
- 五 不足備の事
- 六 其名を隠れる事
- 七 弱敵弱方より油之事
- 八 仇討之る事
- 九 敵討の事
- 十 子敵を討て置る事

○卷之七 古陣

- 一 出陣候儀作法并者組の事
- 二 陣中油押作法の事
- 三 右の油押列決案の事
- 四 油旗の油押作法の事
- 五 油旗の油押列之決案
- 六 小方の陣中後油脇油石旗を組むる儀并  
續油押作法の事

○卷之八 陣取上

- 一 陳列の事
- 二 小陳列法并圖畫の事
- 三 大陳列の事
- 四 相陳列の事
- 五 八極の事
- 六 八極の事
- 七 方角陳列の事
- 八 方角大陳列の事
- 九 方角連陳列の事
- 十 方角山陳列の事
- 十一 方角相陳列の事

○卷之九 陳列下

- 一 夫因陳列舊法圖十七の事
- 二 陳列軍法十二ヶ條の事 自檢三ヶ條の事 并陳中法法十二ヶ條
- 三 陳列式切九ヶ條の事
- 四 陳場之業六ヶ條の事
- 五 陳中より水汲れたる陳具と名を檢するの事
- 六 陳場之業并陳列圖

- 七 人数并陈を割
- 八 右の人数小を割
- 九 右之陈を軍法又之条

○卷之十 戦地

- 一 敵地をうごかす山の地十二ヶ条の事
- 二 山中より押入他法三ヶ条の事
- 三 山中の押入
- 四 山の形はる事
- 又 敵地始るる山中より道とあて人数はる事

先よそくけうへはるる事

地形の条十四ヶ条の事

地形乃名十二ヶ条の事

○卷之十一 作帳

- 一 物見表をうごかし事
- 二 大物見中物見小物見三法の事
- 三 物のつやうの圖并道立物見備の事
- 四 繫物見油物見透見物見毎の物見
- 五 相同の物見敷を引物見の事



- 七 同 丑 我入敷の事
- 八 同 寅 察分取
- 九 同 卯 衆取
- 十 同 辰 主取
- 十一 同 巳 客取
- 十二 同 午 治内
- 十三 同 未 知外
- 十四 同 申 應取

○卷之十三 備

- 一 座備並由半互の分半配人取横七ヶ  
大 条の事
- 二 座備座由の配法四ヶ条の事
- 三 座由圖
- 四 五十張の由新共迄凡廿二ヶ条の事
- 五 五十張の由立圖并由町横リ人取横リの事
- 六 先子座由及由小取迄迄惣由の事
- 七 同惣由の事
- 八 一由の人取及び積りお取一二の互配の事
- 九 一の先子及士夫取積り由立圖

- 十二のふれ士大の旗中後立の圖
- 十一 或回信玄旗中後立
- 十 信玄旗中六番之儀
- 九 同旗中六番之儀
- 八 七千五百の儀立圖
- 七 奇正并三之儀
- 六 小連之儀
- 五 八人形之儀
- 四 侍力守備
- 三 車懸

- 二十 長蛇
- 一 方四八陣座儀
- 二 方山座備圖
- 三 方圓軍法九ヶ條の事
- 四 五ヶ條の儀の事
- 五 六ヶ條の儀の圖
- 六 六ヶ條の儀の池法又ヶ條の事
- 異本備書
- 一 長蛇の儀の事
- 二 圓形の儀の事

- 一 鋒矢の倂はる
- 二 常月れ倂の事
- 三 雁羽の倂はる
- 四 断扼れ倂の事
- 五 常蛇之倂はる
- 六 一回一倂の事
- 七 散回一倂の事
- 八 一向二裏倂の事
- 九 才の散と倂倂の事
- 十 車廻る事

三 車廻りと向ら倂の事  
 倂と才とんでらりか、ふ他法の事  
 奇正之事

- 一 地取合の事
- 二 地取合の第一ヶ箇の圖
- 三 一二郡の士大の知り賤人殺割七ヶ條の事
- 四 右の人殺とは合殺の事
- 五 殺り合はる事

六 七 八 一 二 三 四 五 六 七

或の方方引退く由十ヶ条の事

○巻同章

國津より矢の事

○巻同利

孔を名あてりしは 水条或改りて同信を 和懐の事

○巻同貞

地を合おし律乱入三つの教を自あへし入所載は十ヶ条の事

○巻之十五 城攻

敵城へ押しよする他法十四ヶ条の事

城攻或功十二ヶ条の事

あより可はわうも三ヶ条の事

城内へ計策八ヶ条の事

火攻二ヶ条の事

城を解松又ヶ条の事

攻城

八 籠城の大約可心得七ヶ条の事

九 守城

十 守城用法四十二ヶ条の事

十一 城内法七ヶ条の事

十二 城内法五

十三 秘戦

十四 密戦法又ヶ条の事

十五 自秘法又ヶ条の事

十六 活還の秘と滴の法又ヶ条の事

十七 敵地の海とと押し法三ヶ条の事



十八 船管法三ヶ条の事

十九 船管の圖

二十 船管式切九ヶ条の事

廿一 船軍式切八ヶ条の事

廿二 船中切見の事

廿三 船戦用法

○卷之十六 兵巻上

一 軍配固扇他格四ヶ条の事

二 宋牌可他格十二ヶ条の事

三 鞭他扇可他法三ヶ条の事

四 扇子他扇可他法の事

五 切らるゝね仕立へ可他法九ヶ条の事

六 縫縫仕立へ可他法八ヶ条の事

七 幕可仕立他法十九ヶ条の事

八 内幕他扇可他法二ヶ条の事

九 罽連幕他扇可他法三ヶ条の事

十 幔幕仕立へ可他法三ヶ条の事

十一 つき切祿の事

十二 袴袴の事

十三 くのぎまうのり

○卷之十七 巻下

一 押ち敷作ら他法十三ヶ条のり

二 罫の事

三 敷重る事

四 頬當のり

五 胴丸のり

六 胴下地の事

七 大盛小横印の花系火盛りしり威洗系

威のりすけ綿の垂系さるし存はる

八 草摺のり

九 大袖中袖小袖の事

十 籠のり

十一 脇引のり

十二 佩指のり

十三 臍當のり

十四 脚絆のり

十五 足袋のり

十六 下巻のり

十七 小袴の事

十八 衣裏巻の圖

十九 鞆マシラの圖

廿 弓籠コウリの圖

廿一 明鏡アカキの圖

廿二 箭筒ヤの圖

廿三 具足クの圖

○卷之十八

一 軍配クの圖

二 武田十八代并旗本指習クの圖

○卷之十九 雜記

一 軍法異本相傳クの事

二 軍法同相傳クの事

三 城取同心法相傳クの事

四 旗同地取クの事

五 繩同張クの事

六 城同取クの事

七 虎同口クの事

八 異本 鄣幕之事

九 同 律秋櫓之事

十 同 雜制之事

十一 同 戎者分人積積之事

十二 同 名不名之事

十三 同 出軍之事

十四 同 高 事とのりて七ヶ条の事

十五 異本 夜戦

十六 同 夜軍 不可出立 旅子二ヶ条の事

十七 同 夜軍 不可出立 旅子二ヶ条の事

十八 同 始て夜戦 一二三日迄の事

十九 同 夜軍 不可出立 二ヶ条の事

二十 同 夜軍 不可出立 夜戦の事

廿一 同 夜軍 不可出立 九ヶ条の事

廿二 同 夜戦

廿三 同 夜軍用法

廿四 同 敵國へ入て夜戦 不可出立 他法九ヶ条の事

廿五 異本 夜守敵國へ入て夜戦 不可出立 夜軍 不可出立 けらさ

廿六 同 他法十ヶ条の事

廿七 同 夜軍 不可出立 夜戦の事 三ヶ条の事 異本 夜戦の事

廿七 覆伏七ヶ条の事

廿八 覆我之事

廿九 覆我之事

三十 伏我の事

卅一 伏我の有無を知らぬヶ条の事

卅二 山林村里陰阻林を伏我の討つ事

有る事とさうらぬ事

卅三 覆我の事

卅四 他へ働かすヶ条の事

陳の物とするヶ条の事

卅五 川我

卅六 川と前より向く指敵ヶ条の事

卅七 河川敵を我に引込ヶ条の事

卅八 敵火自燃

卅九 敵火を月より燃八ヶ条の事

卅十 射陣の相或ハ籠の討法軍勢より我糧以海と

我四ヶ条の事

卅一 凱聲

卅二 我乃討つ事

卅三 八字之事

四十四 大物八場畧之事

四十五 十道之事

四十六 五教の事

四十七 百姓人之事

四十八 貴族討之の事

四十九 用恩

五十 大物五用之の事

五十一 大将五思之の事

五十二 用御行人之法の事

五十三 五間之介

五十四 五間之事

五十五 以人

五十六 七字の事

五十七 一字の事

五十八 隠しと表らふ三ヶ条の事

五十九 城と責むる三ヶ条の事

六十 人用捨

六十一 将可用人五人

六十二 ねよ不用人五人

六十三 石指之て石所役人

三十一

三十一

卷之二十 同二十一年 禱

辛巳 皇運

辛六 皇輕

辛七 勝羽

辛八 首對面儀式

辛九 願實檢見知儀式

辛十 晴時取の儀法儀式

辛十一 首送の儀法儀式

○卷之二十 同二十一年 禱

自大永元年 至 天正十四年 九十六年 六年

